

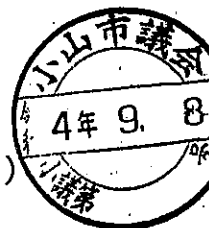
視察調査・研修会等報告書

令和4年9月8日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 福田洋一 様

議員氏名(荒川美代子)



研修・視察日時	令和4年8月18日～8月19日
研修会場・視察先	全国市町村国際文化研修所 滋賀県大津市唐崎二丁目13-1
研修名・視察目的	JIAM市町村議会議員研修 「自治体予算を考える」
研修者・説明者の 氏名・職名等 研修会参加者の氏名等	
参加職員(同行者)	佐藤忠博、大平拓史
研修概要	<ul style="list-style-type: none"> 自治体予算の原則・制度、歳入・歳出予算の基本的事項やチェックポイントについて学ぶ 財政診断をもとに、持続可能な財政運営方策について考える 地方公会計の基本的事項を理解し、その活用について学ぶ
市政の課題等に対し どのように参考になるか 所感等	<ul style="list-style-type: none"> 安定的に入る市税がある反面、基金が少く、将来負担比率が高い。 これらの対策をどうしたら良いのか全国の自治体の工夫を勉強し、小山市に活かしたい。 議員は市民が納めた税金がどのように使われているのかをわかりやすく説明し、市民に説明しなくてはならない。 財政の見える化で市民に分かり易い広報が必要と感じた。

視察調査・研修会等報告書

講師 武庫川女子大学 金崎 健太郎

○ 予算の意義

- ① 自治体の行政がどのように行われるかを具体的に表現し一覽表
- ② 住民を代表し議会が首長をコントロールする手段
- ③ 予算を通じて首長が行政執行をコントロール
- ④ 住民に情報提供、納めた税金がどのように使われ、効果が住民に還元されるかを判断する基礎

○ 予算公開の原則

- ・ 住民への公サービスの提供 → 予算によって実現
- ・ 予算について、住民に理解され、協力を得ることが必要
- ・ 予算の住民への公表、わかりやすい工夫が必要

○ 決算について

- ① 歳入予算に対する出納の実績、歳出予算の適正な執行及びその成果を調査、その適否をみる。
- ② 次年度予算の執行の際の指針となる。

○ 財政を診断する

- ・ 実質収支 ~ 歳入と歳出の収支は合っているか。
- ・ 財政力指数 ~ 財政面での豊かさの程度は。
- ・ 経常収支比率 ~ 経常的収入である一般財源の占める割合が経常的経費に占めているか？ 政策的な経費に回る余裕ほどの程度あるか？
- ・ 健全化判断比率 ~ ① 実質赤字比率 ② 連結実質赤字比率 ③ 実質公債費比率 ④ 将来負担比率

○ 財務書類の活用状況

せっかく作成するので何に活用するのか、財政状況を分岐し今後の仕事をどうするのか活用していくべきと感じる。